

2008年6月5日

(社)岡山県宅地建物取引業協会

岡山西支部 研修会テキスト

写真加工
案内地図作成

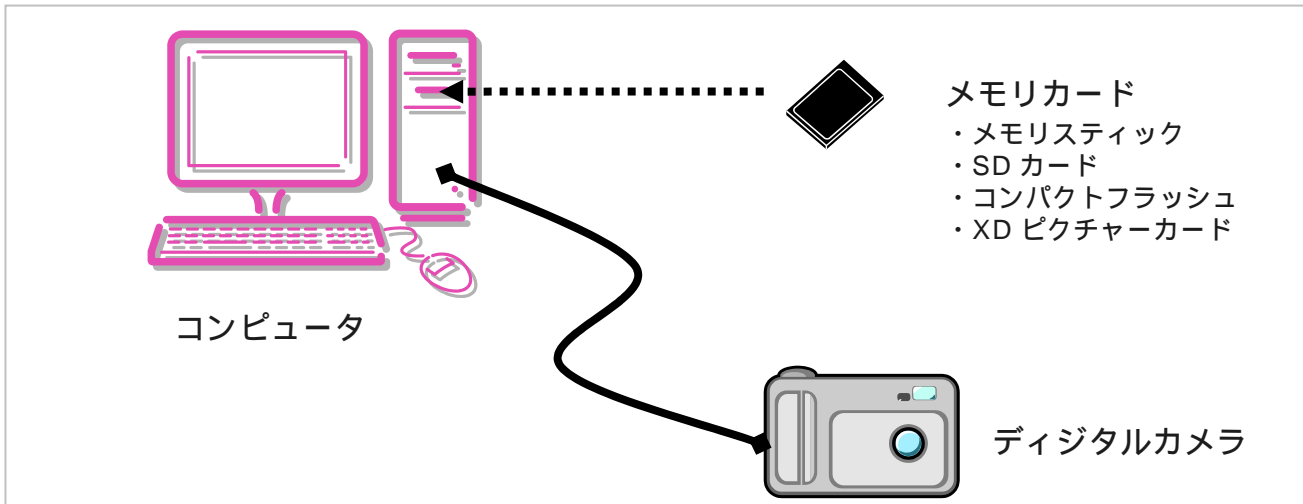
目 次

1 A. デジタルカメラで撮影した写真の取り込み方 (X P)	3
1 B. デジタルカメラで撮影した写真の取り込み方 (Vista)	6
2. 写真加工	8
2-1 A. ソフトの起動 (Vista)	8
2-1 B. ソフトの起動 (X P)	9
2-1 C. 加工前の準備 (ファイルのコピー)	10
2-1 D. 加工の準備 (写真の表示切り替えと作業メニュー)	12
2-2. 写真のトリミング (余分なところを切り抜く)	13
2-3. 写真の自動修正、明るさとコントラスト	14
2-4. 写真の色補正	15
2-5. 写真のデータサイズの変更	16
2-6. 写真データの回転	18
3 A. 案内地図作成【Word2007】	19
3-1. 文書を開く操作と、画面の確認をします。	19
3-2. 道路を配置します。	20
3-3. 建物や地図上の記号を配置します。	22
3-4. 建物名を配置します。	23
3-5. 案内図を保存します。	24
3 B. 案内地図作成【Word2003】	25
3-1. 文書を開く操作と、画面の確認をします。	25
3-2. 道路を配置します。	26
3-3. 建物や地図上の記号を配置します。	28
3-4. 建物名を配置します。	29
3-5. 案内図を保存します。	30
4. 案内地図作成を使って、物件周辺図を作成してみましょう。	31
附録 案内地図作成用 ワード文書データの取り寄せ (裏表紙)	

1 A. デジタルカメラで撮影した写真の取り込み方

デジタルカメラで撮影した写真の取り込み方は、共通した操作が行えます。
以下は、Windows XP での手順となります。

パソコンと、カメラを接続します。もしくは、メモ리카ードを直接挿入します。



A-1 カメラの電源を切った状態で、カメラとパソコンを接続します。

A-2 カメラの電源を入れます。

A-3 カメラを【再生モード (▶) または、PC モード】に切り替えます。

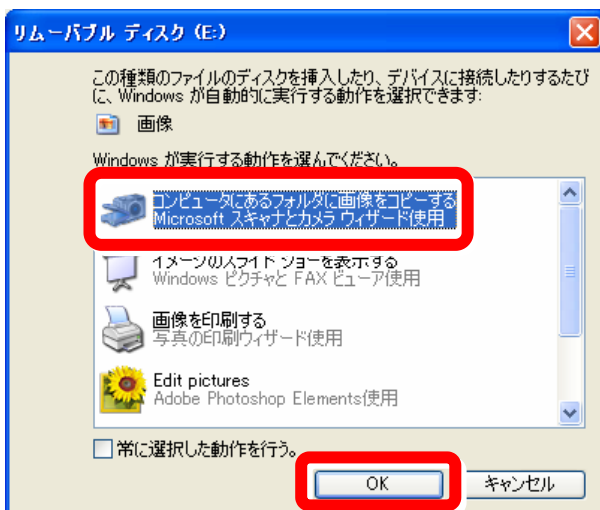
電源を入れる操作、再生モードまたは、PC モードにする操作は、カメラのメーカーや機種によって異なります。

B-1 カメラからメモ리카ードを取り出して、直接パソコンに挿入します。

パソコンの種類によっては、挿入することができないものもあります。

A または、B いずれかの操作をします。

ウィザードを起動させる指示をします。



「リムーバブルディスク」の画面が表示されたら、【コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする / Microsoft スキャナとカメラウィザード使用】を選択して【OK】ボタンをクリックします。

ウィザードを進めます。



「スキャナとカメラウィザードの開始」の画面が表示されたら、【次へ】ボタンをクリックします。

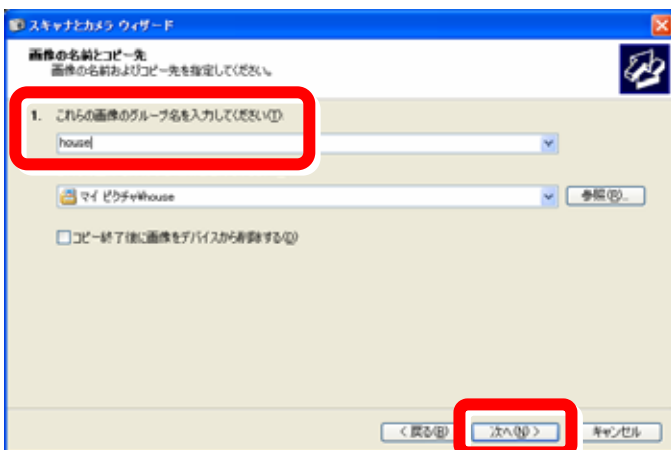
取り込む画像を選択します。



「コピーする画像の選択」画面が表示されたら、画像右上のチェックボックス で、取り込む画像を確認します。

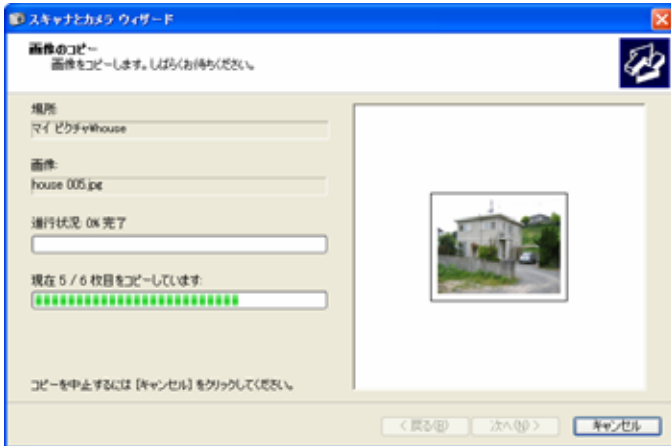
既定は、すべての画像が選択されています。取り込みたくない画像がある場合は、チェックボックスをクリックしてチェックをはずします。

画像のグループ名を入力します。



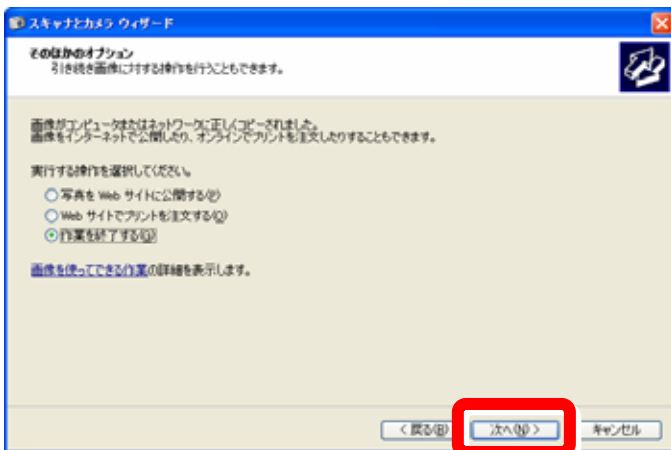
「画像の名前とコピー先」画面が表示されたら、「1. これらの画像のグループ名を入力してください」の項目の入力欄に取り込む写真のグループ名を入力します。この例では、「house」と入力しています。グループ名の入力後、【次へ】ボタンをクリックします。

取り込みの状態を確認します。



「画像のコピー」画面が表示されたら、取り込みの操作が始まります。取り込まれる画像を確認してください。

作業終了の指示をします。




「その他のオプション」画面が表示されたら、「実行する操作を選択してください。」の項目で、【作業を終了する】が選択されていることを確認して【次へ】ボタンをクリックします。

「スキャナとカメラウィザードの完了」画面が表示されたら、【完了】ボタンをクリックします。

取り込まれた画像を確認します。



ウィザードの終了と同時に取り込みの際に指定したグループ名のフォルダが開かれます。

 表示ボタンをクリックして、【縮小版】をクリックします。取り込んだ写真が確認できる状態になります。

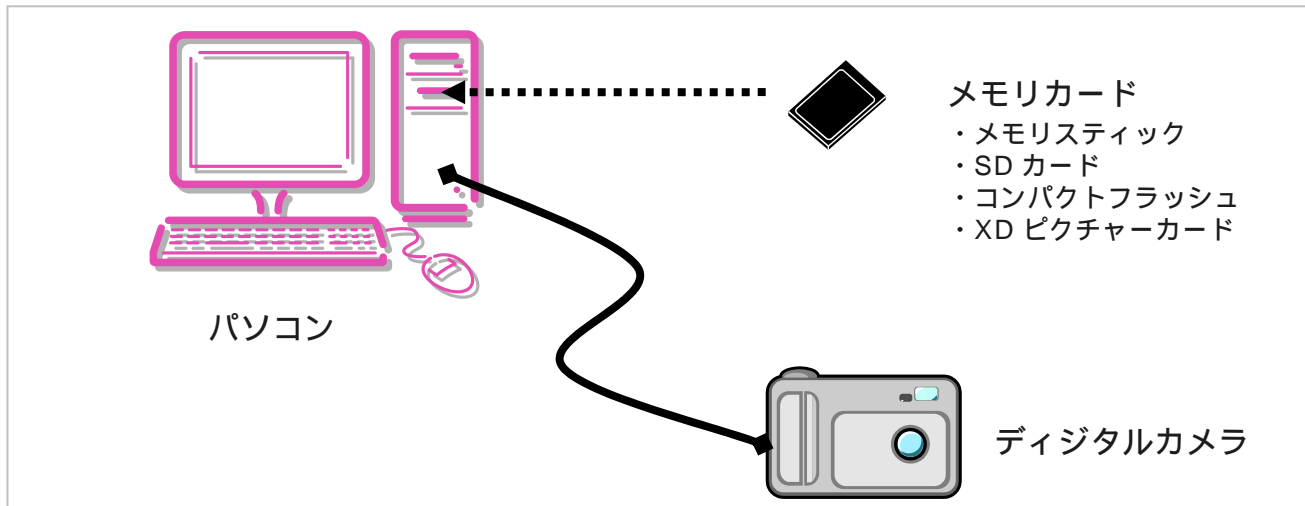
確認後は、右上の【閉じる】ボタンでフォルダを閉じましょう。

1 B. デジタルカメラで撮影した写真の取り込み方

デジタルカメラで撮影した写真の取り込み方は、共通した操作が行えます。

以下は、Windows Vista での手順となります。【XP とは、画面が異なります。】

パソコンと、カメラを接続します。もしくは、メモリカードを直接挿入します。



A-1 カメラの電源を切った状態で、カメラとパソコンを接続します。

A-2 カメラの電源を入れます。

A-3 カメラを【再生モード (▶) または、PC モード】に切り替えます。

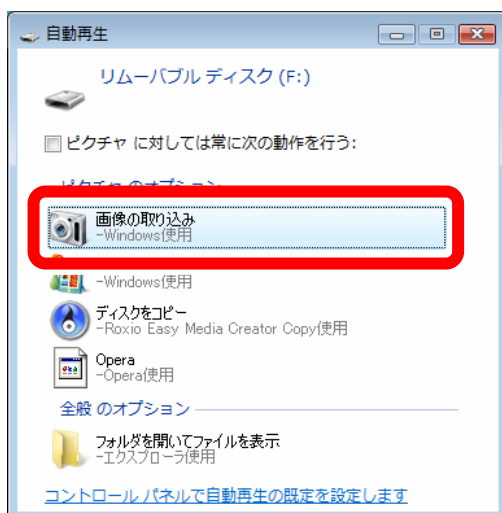
電源を入れる操作、再生モードまたは、PC モードにする操作は、カメラのメーカーや機種によって異なります。

B-1 カメラからメモリカードを取り出して、直接パソコンに挿入します。

パソコンの種類によっては、挿入することができないものもあります。

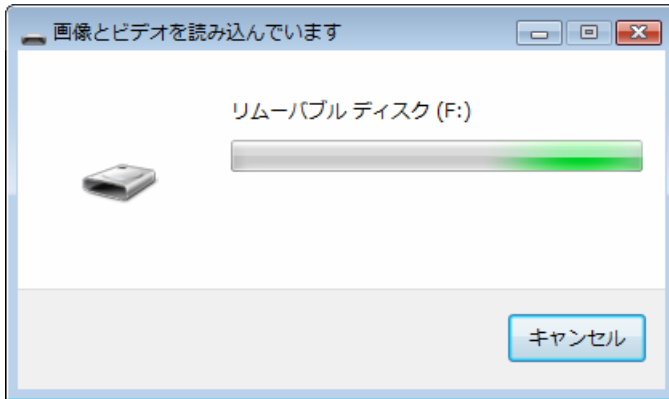
A または、B いずれかの操作をします。

ウィザードを起動させる指示をします。



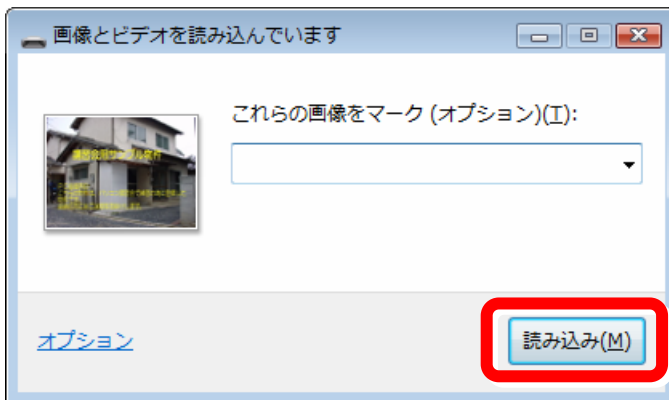
「リムーバブルディスク」の画面が表示されたら、【画像の取り込み】をクリックします。

読み込み状況が表示されます。



左のような画面が表示されますので、しばらく待ちます。

取り込む画像を選択します。



【読み込み】ボタンをクリックします。

写真データの取り込みが始まります。

取り込まれた写真を確認します。



フォトギャラリーが開かれて、取り込まれた画像が確認できます。

確認後、右上の【閉じる】ボタンをクリックして、画面を閉じます。

閉じた後も、写真のデータは、【スタート】メニューの【ピクチャ】から確認することができます。

2. 写真加工

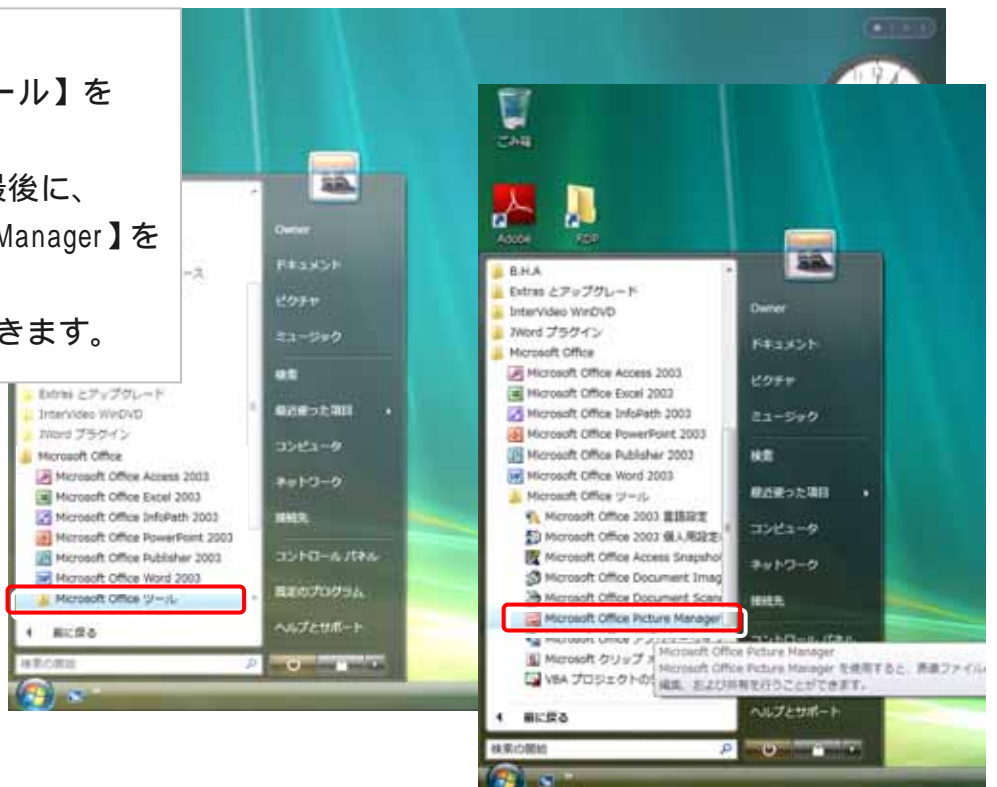
マイピクチャに取り込んだ写真のデータを、Microsoft Office Picture Manager を使って加工します。

Windows Vista

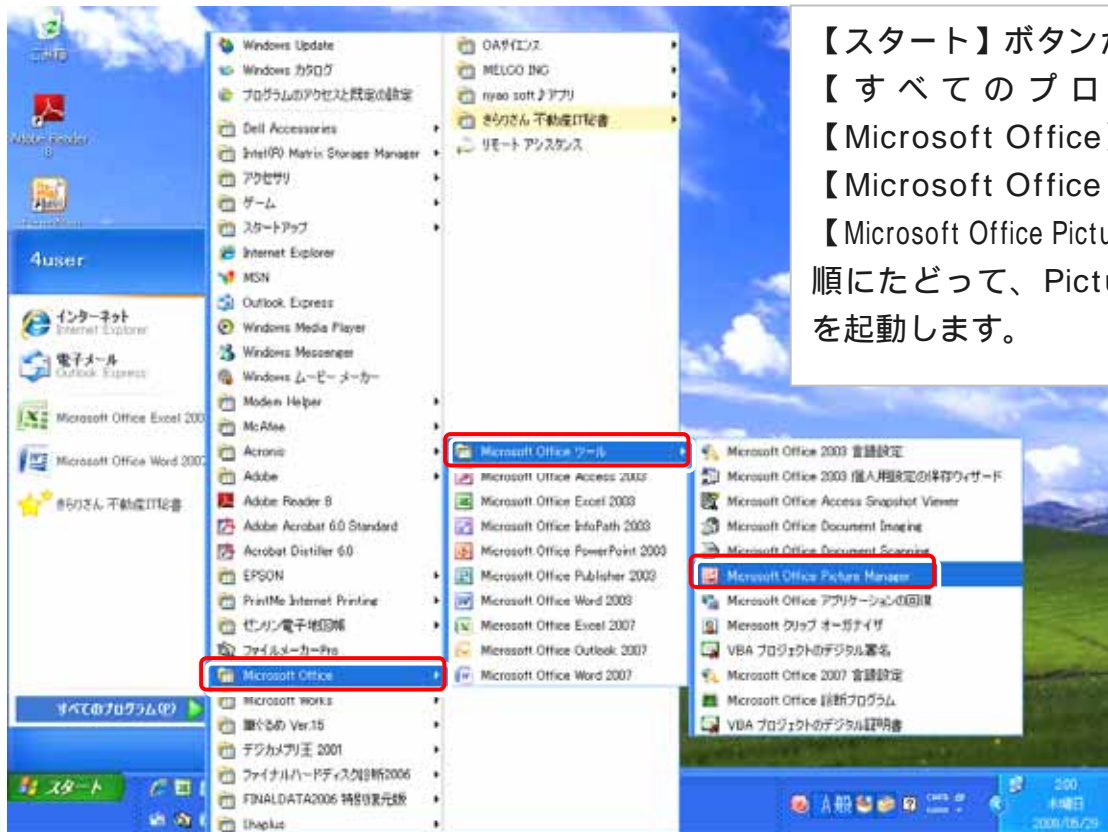
2-1 A . ソフトの起動



内訳が出ますから
【Microsoft Office ツール】を
クリック
内訳が出ますから、最後に、
【Microsoft Office Picture Manager】を
クリックします。
Picture Manager が開きます。



2-1 B . ソフトの起動

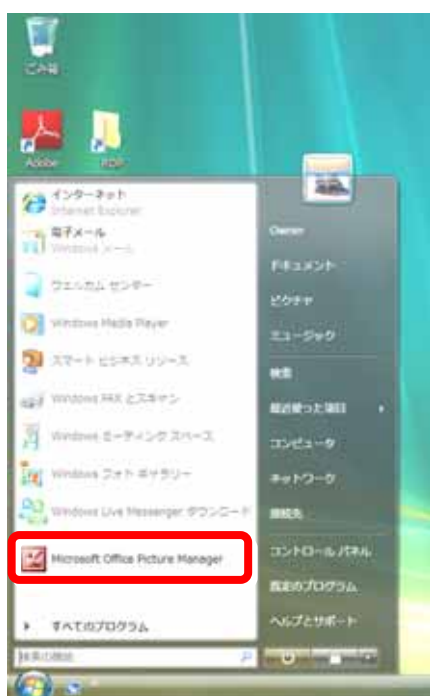


【スタート】ボタンから
【すべてのプログラム】
【Microsoft Office】
【Microsoft Office ツール】
【Microsoft Office Picture Manager】の
順にたどって、Picture Manager
を起動します。

参考

一度起動すれば、次回からは、すばやく開くことができます。

Windows Vista



Windows XP



以下は、Windows XP・Vista 共通の手順となります。

写真データはマイピクチャにあるものとします。

2-1C．加工前の準備（ファイルのコピー）

加工する写真を指定します。



念のため、加工前の写真を残すために、**コピー**を取っておきます。

（省略可）

加工したい写真をクリックします。

写真をコピーする指示をします。



上のツールバーの【コピー】をクリックします。

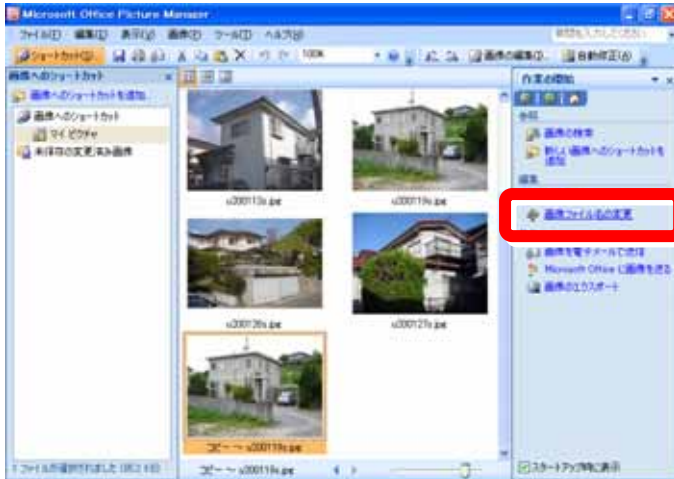
画像を貼り付けます。



【貼り付け】ボタンをクリックします。

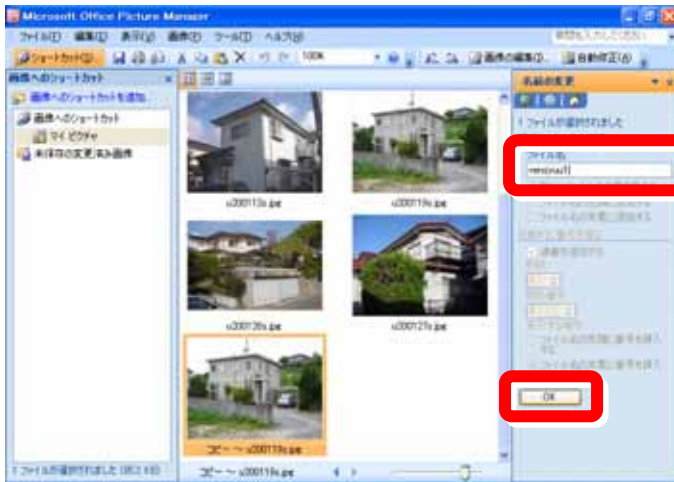
画面を下にスクロールして、写真がコピーされたことを確認します。

ファイル名を変更する指示をします。



右の作業ウィンドウ内のメニューから、【画像ファイル名の変更】をクリックします。

ファイル名を入力します。



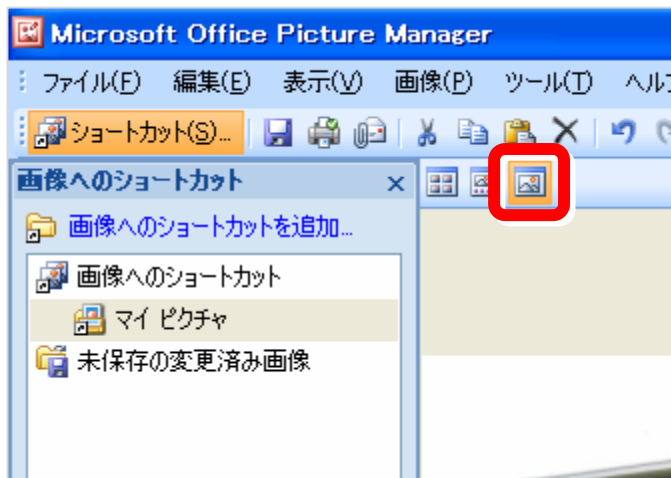
ファイル名の項目欄をクリックして、カーソルを表示させたあと、文字を削除して、ファイル名を入力します。

左は、例として、
【rensyu1】と入力しています。

入力後、下の【OK】ボタンをクリックします。

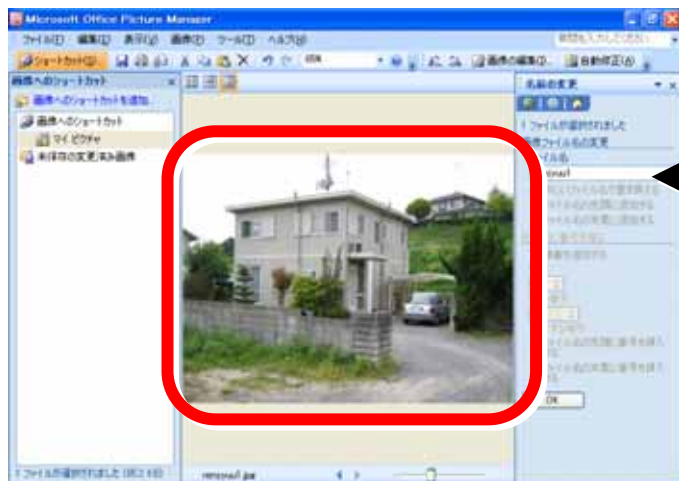
2-1 D . 加工の準備（写真の表示切り替えと作業メニュー）

写真の表示方法を切り替えます。



上のツールバーの下部分に並ぶ、三つの表示切り替えのボタンの一番右側のボタンをクリックします。

表示が切り替わったことを確認します。




写真が大きくなって、加工しやすい表示の状態になりました。

作業メニュー



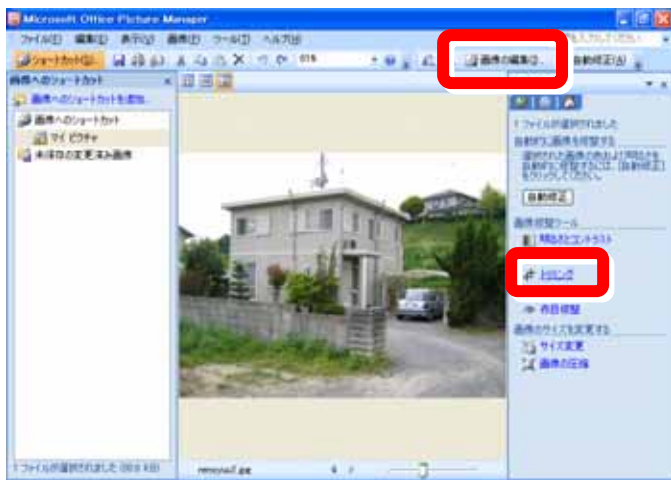
作業ウィンドウの利用：
右のウィンドウで作業を切り替えることができます。

例えば、後で、ファイル名を変更したいときは、【作業の開始】を選択します。

また、作業ウィンドウ上側の
【戻る】・【進む】ボタンで、作業を切り替えることもできます。

2-2 . 写真のトリミング（余分なところを切り抜く）

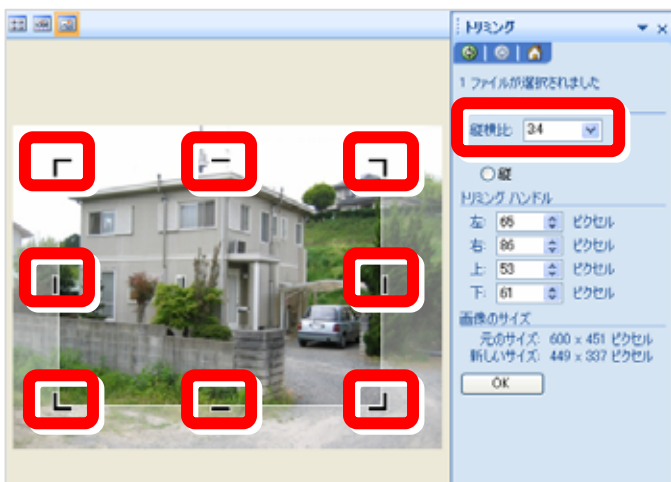
トリミングを指示します。



上のツールバー内の【画像の編集】ボタンをクリックします。

作業ウィンドウが切り替わったら、【トリミング】をクリックします。

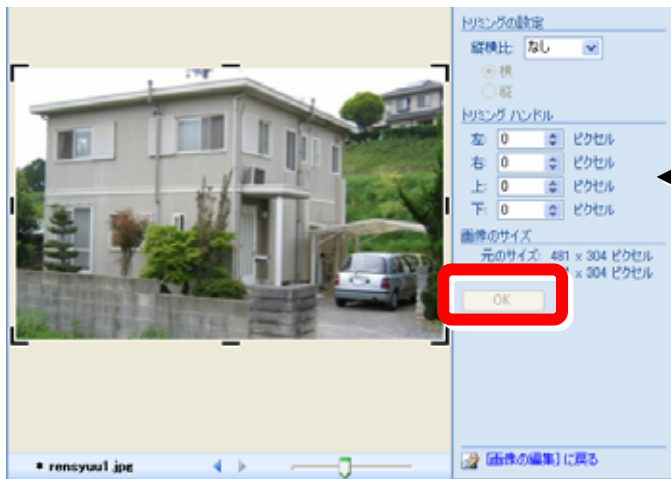
トリミングの範囲を指示します。



作業ウィンドウ内の【縦横比】のリストの中から【3：4】をクリックします。

写真の四隅および辺の中心に表示される、Lの字または、Iの字のハンドルをドラッグして、切り抜く部分を指定します。

トリミングの確定を指示します。

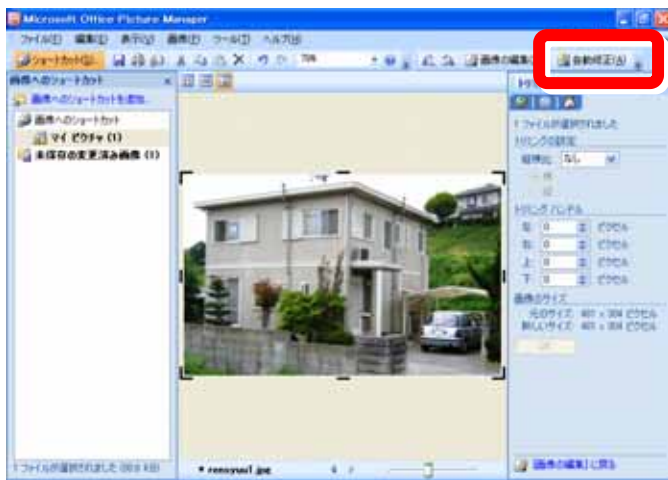


作業ウィンドウ内の【OK】ボタンをクリックします。

余分な個所が切り抜かれました。

2-3 . 写真の自動修正、明るさとコントラスト

自動修正を指示します。

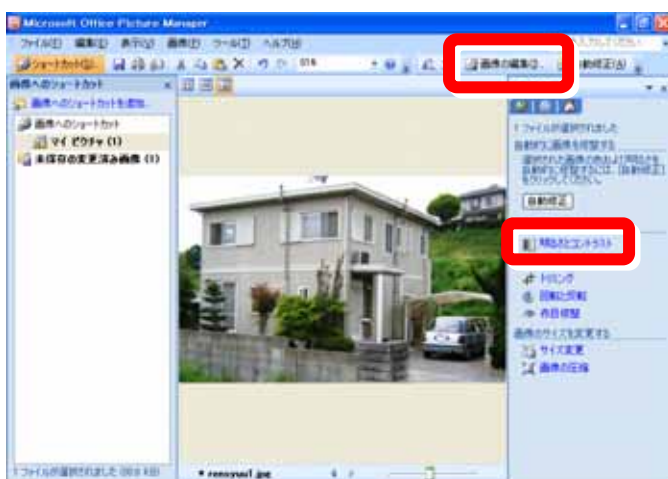


上のツールバー内の【自動修正】ボタンをクリックします。

写真の色、明るさ、コントラストが、適度に修正されます。

写真を加工する時間が十分でない時などに、この機能を利用すると便利です。

明るさとコントラストを細かく補正する指示をします。



上のツールバー内の【画像の編集】ボタンをクリックします。

作業ウィンドウが切り替わったら、【明るさとコントラスト】をクリックします。

明るさとコントラストを補正します。



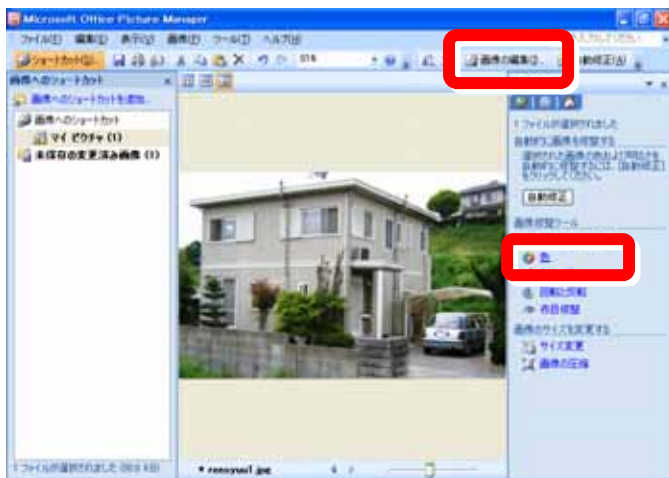
作業ウィンドウ内の【明るさ】や【コントラスト】の項目のつまみをドラッグしてそれぞれを調整します。

明るさのつまみは、右に行くほど、明るくなります。

コントラストのつまみは、右に行くほど、明暗を強調させます。

2-4 . 写真の色補正

色を補正する指示をします。



上のツールバー内の【画像の編集】ボタンをクリックします。

作業ウィンドウが切り替わったら、【色】をクリックします。

色合いと鮮やかさを設定します。



作業ウィンドウ内の【色合い】や【値】、【鮮やかさ】の項目のつまみをドラッグしてそれぞれを調整します。

色合いを決め、値のつまみが右に行くほどその色が強調されます。

鮮やかさのつまみは、右に行くほど、鮮やかな色彩になります。

色合いを補正するときのポイント！

最初はなかなかうまくいかないことも多いですが、たくさん練習して慣れてください。

まず、色合いを選択します。全体的に、青くしたいとか、黄色くしたいという具合です。値を変化させます。右にドラッグするほど、で選んだ色合いが強調されます。鮮やかさを変化させます。右にドラッグするほど、鮮やかな色彩になります。

上書き保存します。

次の 2-5. を参考に、これまでの加工を上書きして保存します。

2-5 . 写真のデータサイズの変更

写真データのサイズを確認します。



写真の上にマウスポインタを移動させると、データのサイズや大きさを確認することができます。

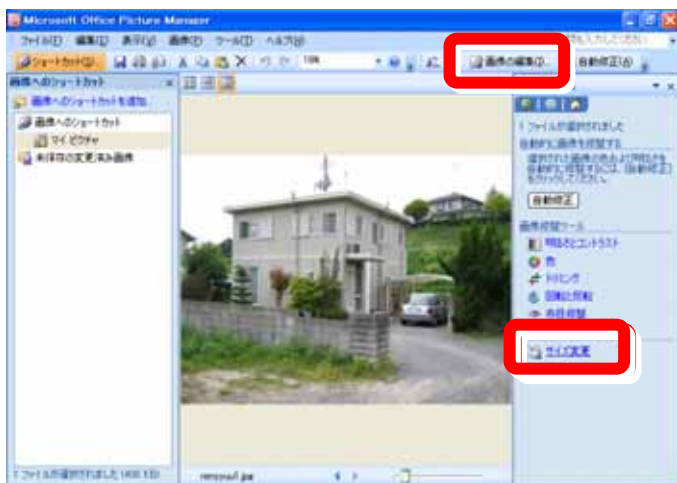
(または、[作業メニュー] [プロパティ])

右の写真の例は、

ファイルサイズ: 408 ^{キロバイト} K B

大きさ: 2044 x 1536 ピクセル

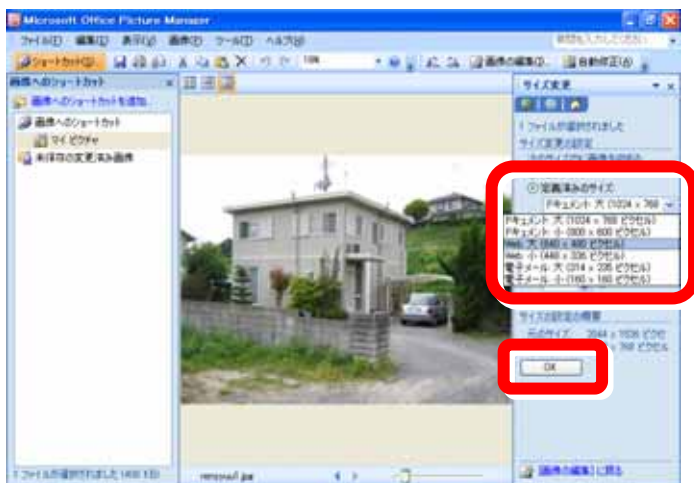
作業ウィンドウを切り替えます。



上のツールバー内の【画像の編集】ボタンをクリックします。

作業ウィンドウが切り替わったら、【サイズ変更】をクリックします。

サイズを指定します。

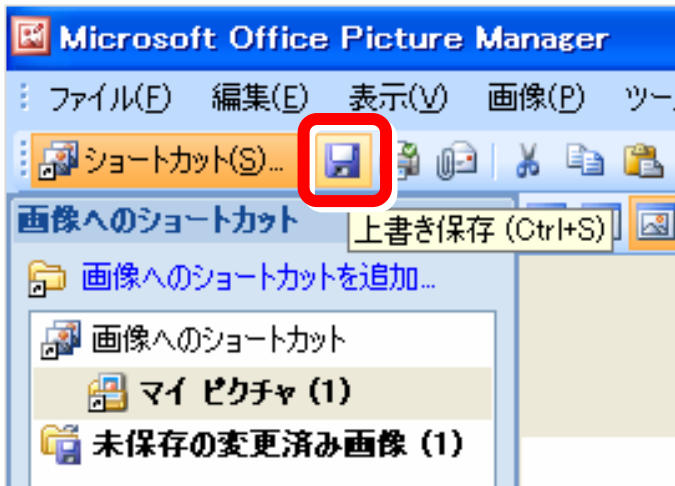


【定義済みのサイズ】のボタンをクリックします。

リスト右隣の をクリックして、一覧から【Web 大 (640 x 480)】をクリックします。

【OK】ボタンをクリックします。

保存します。



【上書き保存】のボタンをクリックします。

サイズが変更されたことを確認します。



写真の上にマウスポインタを当てて、写真データのサイズが変更されたことを確認します。

右の写真の例は、

ファイルサイズ：80.6 ^{キロバイト} K B
大きさ：640 × 480 ピクセル

Q . なぜ、サイズを変更したほうが良いの？ A . 容量を小さくするためです。

文字データに比べて、写真などの画像データは、大きな容量を必要とします。容量が大きくなると、住まいの岡山にデータを送る際、時間がかかってしまいます。また、一般の方が物件を検索して、詳細情報を見る際にも、時間がかかるようになってしまいます。

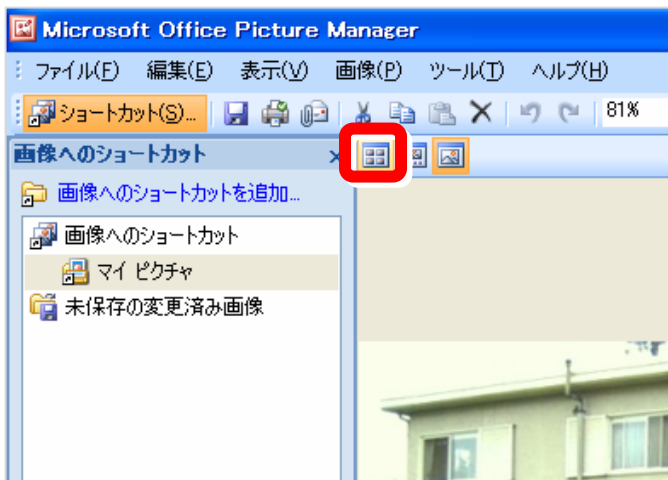
最近のデジタルカメラは、高性能化されていて、大きな容量を必要とします。写真を住まいの岡山に送る前に、サイズを変更して、容量を少なくしておきましょう。

今回の例では、

ファイルサイズ：408 ^{キロバイト} K B (フロッピーの 約 3 分の 1) 80.6 ^{キロバイト} K B (フロッピーの 約 15 分の 1)
大きさ：2044 × 1536 ピクセル 640 × 480 ピクセル になりました。

2-6 . 写真データの回転

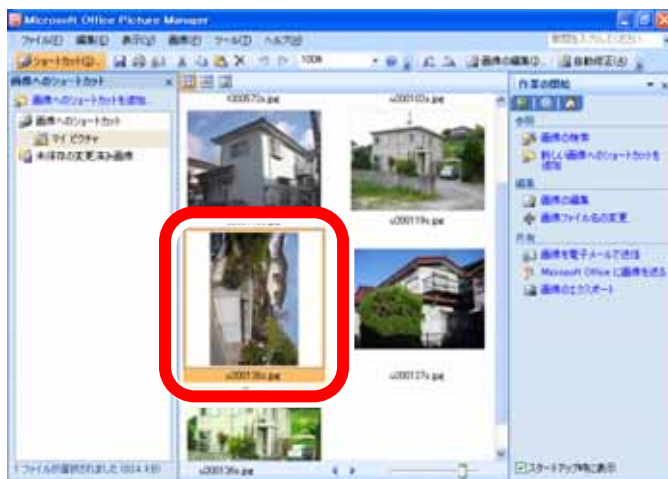
表示を縮小表示に戻します。



上のツールバー内の【縮小表示】ボタンをクリックします。

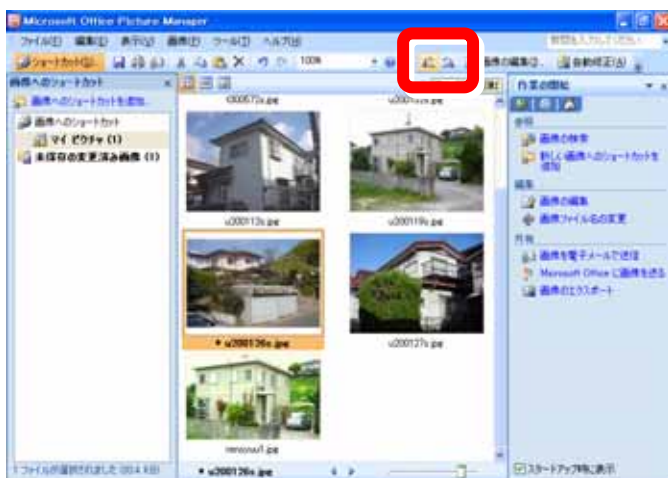
縮小表示の状態に切り替わります。
縮小表示の状態とは、複数の写真が並んだ状態のことです。

回転させたい写真を選択します。



並んだ写真の中から、縦の状態になっているものをクリックして選択します。

回転を指示します。



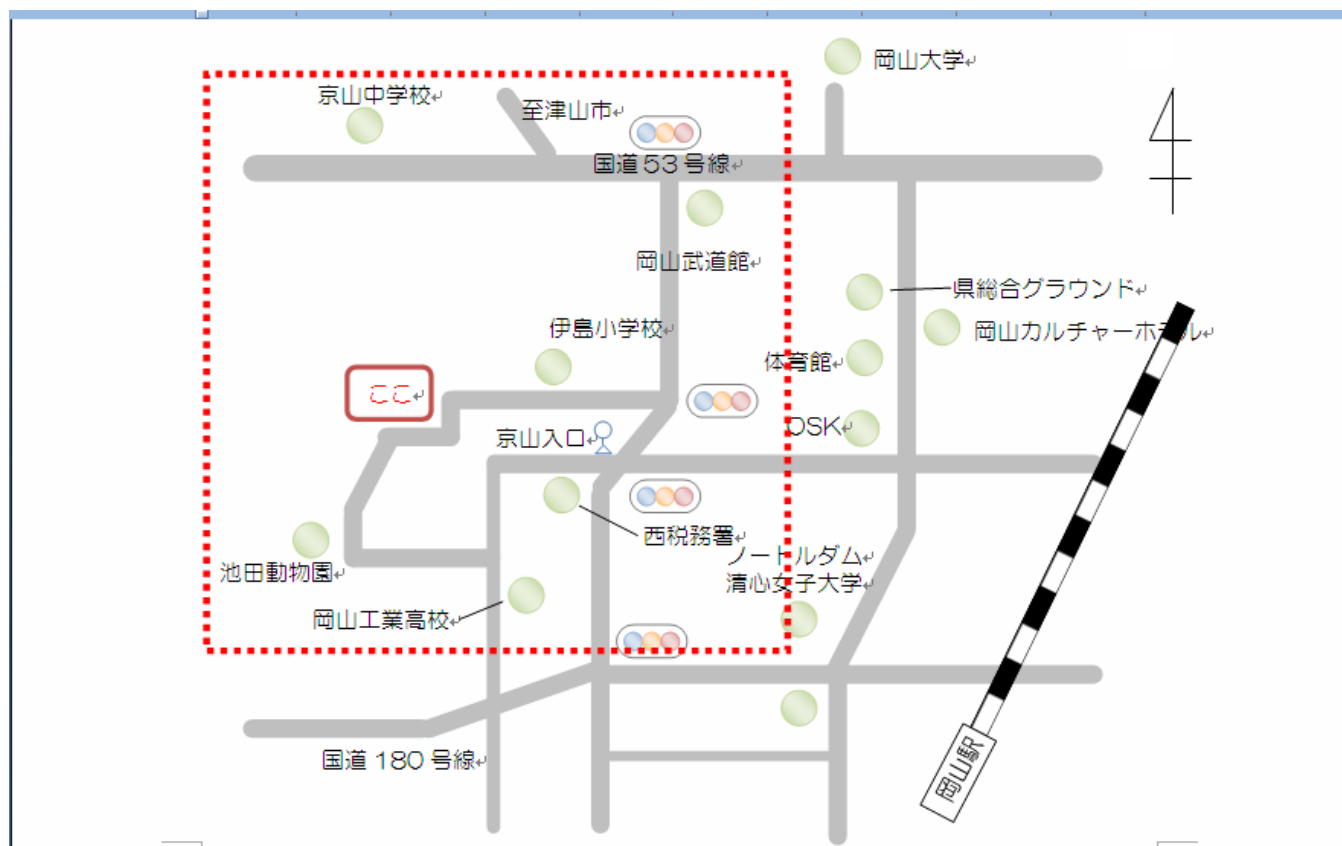
上のツールバー内の
【左へ 90 度回転】
または、
【右へ 90 度回転】
ボタンを何度かクリックします。

回転の操作は、必要に応じて行ってください。

上書き保存します。
前ページを参考に、回転の結果を上書き保存します。

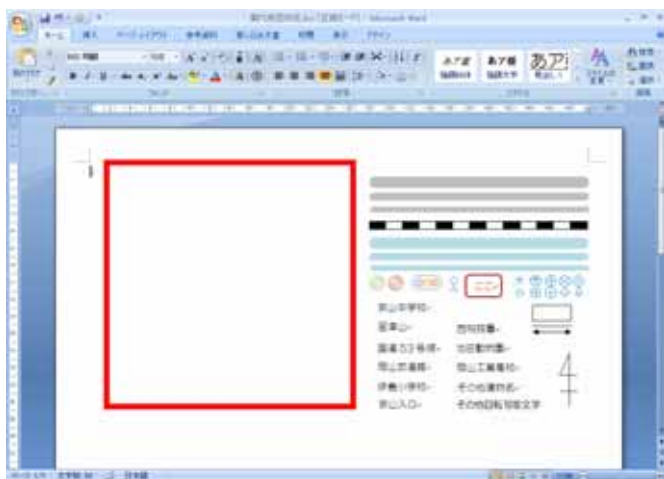
3 A. 案内地図作成

物件情報を公開する際、物件の場所を案内する地図は、必要なものです。
ここでは、使い慣れたワードを使って、下のような案内地図を作成してみましょう。



講習会では、時間の都合上、赤い点線で囲まれた部分を作製していただきます。
早く終わった方は、赤い点線で囲まれた部分以外のところにも、挑戦してみましょう。

3-1 . 文書を開く操作と、画面の確認をします。 案内地図作成文書を開きます。

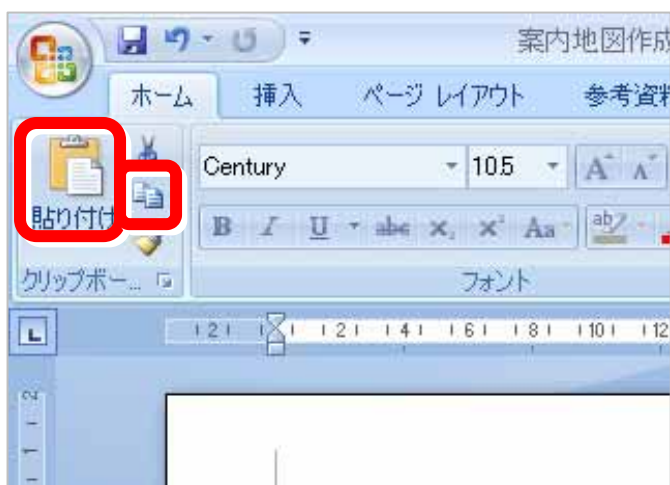


【案内地図作成】を開きます。

ファイルの場所は、講師が説明させていただきます。

3-2 . 道路を配置します。

配置したい道路をコピーします。



配置したい道路をクリックして選択した後、

【コピー】ボタンをクリックし
【貼り付け】ボタンをクリック
します。

すぐ近くに、同じものがコピーされ
ます。

コピーされた道路を配置します。



マウスのドラッグ操作で、道路を配
置していきます。

各パーツの総合的な配置は、前の
ページの完成図を参照してくだ
さい。

他の横向き道路を配置します。



横向き道路を同様の手順で配置
します。

道路の長さの調整は、道路をクリッ
クして選択したときに表示される、
【サイズ変更ハンドル】青色の 印
をドラッグして調整をします。



縦向きや斜めに向いた道路は、回転させます。



縦向きの道路や、斜めに向いている道路は、回転させます。

まず、道路をコピーして適当なところに置いた後、図の周りについている【回転ハンドル】緑色の印をドラッグして回転させます。



すべての道路を配置します。



左の図を参考にして、すべての道路を配置します。

ポイント



上記の道路の配置の手順で、河川や線路なども同様に配置することができます。

3-3 . 建物や地図上の記号を配置します。

建物を配置します。



道路の時と同様に、
配置したい建物記号をクリックして
選択した後、

 【コピー】ボタンをクリックし
 【貼り付け】ボタンをクリック
します。

すぐ近くに、同じものがコピーされ
ます。

ドラッグ操作で配置します。

信号機、バス停、方位マークを配置します。



建物や、道路の時と同様にして、
配置したい記号をクリックして、
【コピー】と【貼り付け】をしたあ
と、ドラッグ操作で配置します。

現地の建物を配置します。



このパーツは一つしか使わない
ため、コピーの操作はしません。

【ここ】と書いてある赤い枠の枠上
をドラッグして配置します。

3-4 . 建物名を配置します。

建物を配置します。



建物名も、一通り用意されているので、コピーはしません。
配置したい建物名をクリックすると、周りに枠線が表示されます。
さらに、その枠上をドラッグして、建物名を配置します。

一度クリックするのがポイントです。

建物補助線を配置します。



建物と、建物名が、少し離れている場合は、わかりやすくするために、補助線を置きます。
道路を置いた時の手順と同様に、補助線を置きます。
また、同じ手順で、必要に応じて回転することができます。

左の図は、工業高校と税務署に、補助線を引いています。

案内図の完成です。



案内図が完成しました。

早くできた方は、さらに周辺の地図や、実際の物件の地図を作製してみましょう。

3-5 . 案内図を保存します。

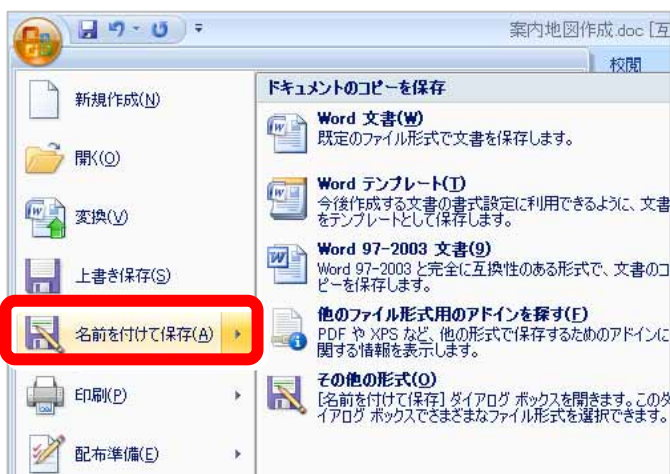
案内図の余分な部分を削除します。



画面に残っているパーツすべてが保存されるため、案内図の右側に残っているパーツを削除します。削除したいパーツをクリックして、【Delete】キーを押すと削除されます。

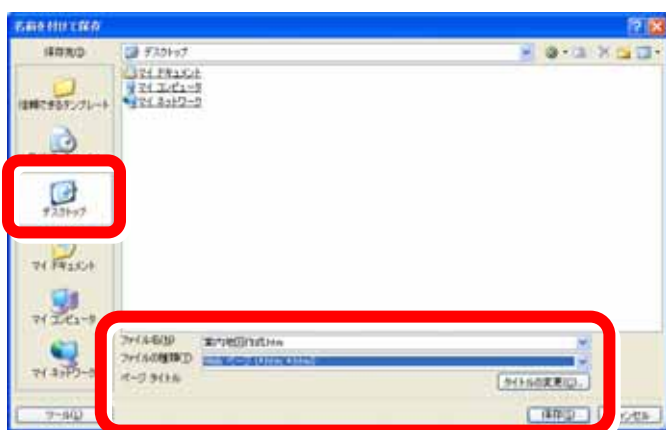
文字枠などが残っている場合は、枠上をクリックして、【Delete】キーを押します。

保存の指示をします。



【オフィス】ボタンから、【名前を付けて保存】を選択します。

保存の場所を指定して、保存をします。



保存場所の一覧から、【デスクトップ】をクリックして選択します。ファイルの種類の一覧から、【Web ページ (*.htm、*.html)】をクリックして選択します。

【保存】ボタンをクリックします。

左の画面は、Windows XP です。

ファイルは、デスクトップ上に、【案内地図作成 files】というフォルダが自動的に作成され、【image001.gif】という名前の画像ファイルとして保存されます。他にも、数点のファイルが保存されますが、必要に応じて、削除してください。

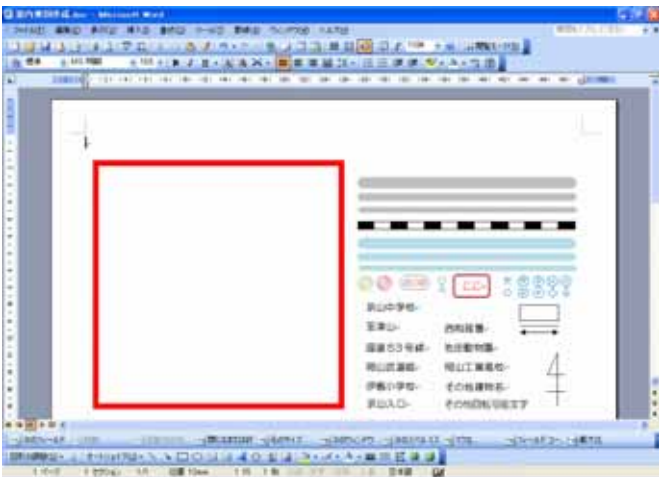
3 B. 案内地図作成

物件情報を公開する際、物件の場所を案内する地図は、必要なものです。
ここでは、使い慣れたワードを使って、下のような案内地図を作成してみましょう。



講習会では、時間の都合上、赤い点線で囲まれた部分を作製していただきます。

3-1 . 文書を開く操作と、画面の確認をします。 案内地図作成文書を開きます。

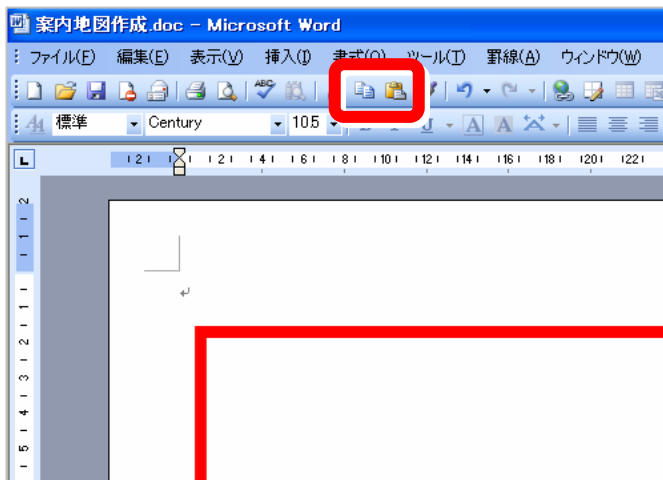


【案内地図作成】を開きます。

ファイルの場所は、講師が説明させていただきます。

3-2 . 道路を配置します。

配置したい道路をコピーします。



配置したい道路をクリックして選択した後、

【コピー】ボタンをクリックし
【貼り付け】ボタンをクリック
します。

すぐ近くに、同じものがコピーされます。

コピーされた道路を配置します。



マウスのドラッグ操作で、道路を配置していきます。

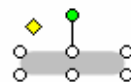
各パーツの総合的な配置は、前のページの完成図を参照してください。

他の横向き道路を配置します。

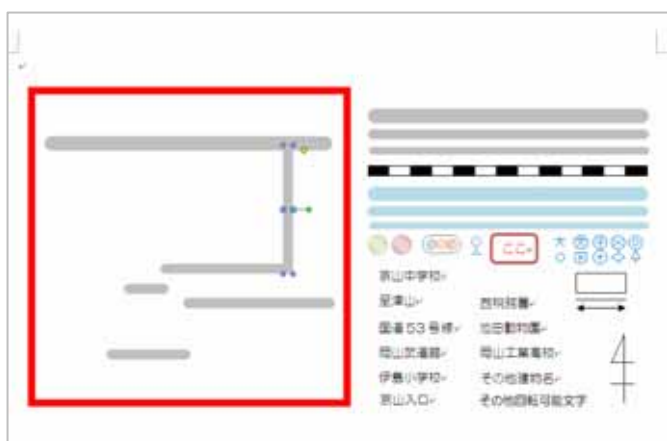


横向き道路を同様の手順で配置します。

道路の長さの調整は、道路をクリックして選択したときに表示される、【サイズ変更ハンドル】白青色の印をドラッグして調整をします。



縦向きや斜めに向いた道路は、回転させます。



縦向きの道路や、斜めに向いている道路は、回転させます。

まず、道路をコピーして適当なところに置いた後、図の周りについている【回転ハンドル】緑色の印をドラッグして回転させます。



すべての道路を配置します。



左の図を参考にして、すべての道路を配置します。

ポイント



上記の道路の配置の手順で、河川や線路なども同様に配置することができます。

3-3 . 建物や地図上の記号を配置します。

建物を配置します。



道路の時と同様に、
配置したい建物記号をクリックして
選択した後、

 【コピー】ボタンをクリックし
 【貼り付け】ボタンをクリック
します。

すぐ近くに、同じものがコピーされ
ます。

ドラッグ操作で配置します。

信号機、バス停、方位マークを配置します。



建物や、道路の時と同様にして、
配置したい記号をクリックして、
【コピー】と【貼り付け】をしたあ
と、ドラッグ操作で配置します。

現地の建物を配置します。



このパーツは一つしか使わない
ため、コピーの操作はしません。

【ここ】と書いてある赤い枠の枠上
をドラッグして配置します。

3-4 . 建物名を配置します。

建物を配置します。



建物名も、一通り用意されているので、コピーはしません。
配置したい建物名をクリックすると、周りに枠線が表示されます。
さらに、その枠上をドラッグして、建物名を配置します。

一度クリックするのがポイントです。

建物補助線を配置します。



建物と、建物名が、少し離れている場合は、わかりやすくするために、補助線を置きます。
道路を置いた時の手順と同様に、補助線を置きます。
また、同じ手順で、必要に応じて回転することができます。

左の図は、工業高校と税務署に、補助線を引いています。

案内図の完成です。



案内図が完成しました。

早くできた方は、さらに周辺の地図や、実際の物件の地図を作製してみましょう。

3-5 .案内図を保存します。

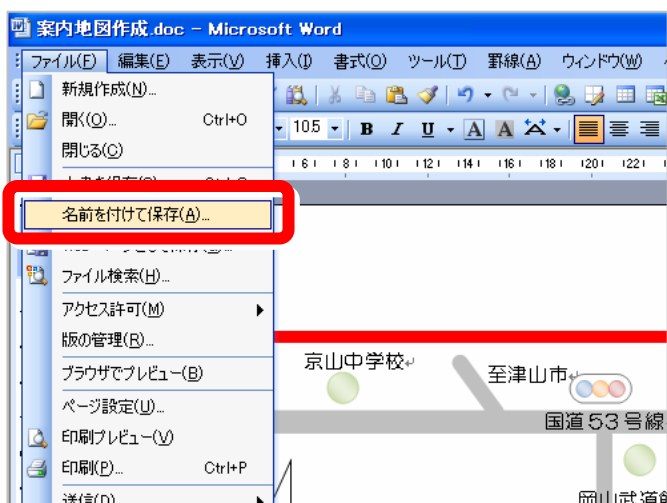
案内図の余分な部分を削除します。



画面に残っているパーツすべてが保存されるため、案内図の右側に残っているパーツを削除します。削除したいパーツをクリックして、【Delete】キーを押すと削除されます。

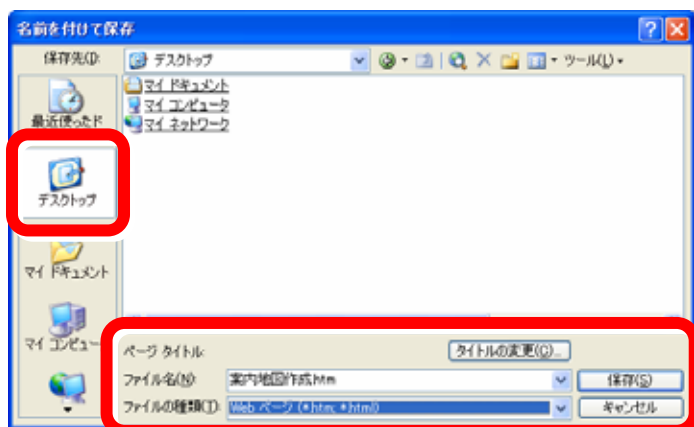
文字枠などが残っている場合は、枠上をクリックして、【Delete】キーを押します。

保存の指示をします。



【ファイル】メニューから、【名前を付けて保存】を選択します。

保存の場所を指定して、保存をします。



保存場所の一覧から、【デスクトップ】をクリックして選択します。ファイルの種類の一覧から、【Web ページ (*.htm、*.html)】をクリックして選択します。【保存】ボタンをクリックします。

左の画面は、Windows XP です。

ファイルは、デスクトップ上に、【案内地図作成 files】というフォルダが自動的に作成され、【image001.gif】という名前の画像ファイルとして保存されます。他にも、数点のファイルが保存されますが、必要に応じて、削除してください。

案内地図作成を使って、物件周辺図を作成してみましょう。

案内地図が完成し、さらに、案内地図の赤い点線以外の部分が完成したら、以下の物件周辺図の作成に挑戦してみましょう。



<作成のヒント>

道路や、方位マークは回転させています。

文字部分には、【その他建物名】のパーツを使用しています。

土地周辺の数字は、【その他回転文字】のパーツを使用しています。

インターシティ津山(有) 0868-32-2766

<http://icity.or.jp/>

当ホームページ からこれまでの研修会の実績が確認できます。

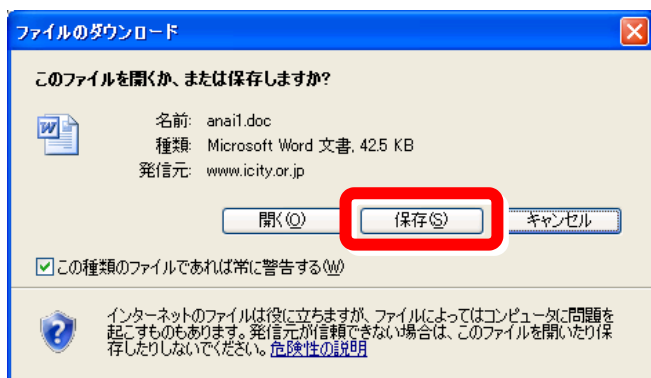
案内地図作成
ワード文書データの取り寄せ

インターネットで、I-CITY ユーザーサポートセンター
のホームページ <http://icity.or.jp/> を開きます。



案内地図作成【1】
(または **案内地図作成【2】周辺**)
をクリックします。

データを保存する指示をします。



【保存】 ボタンをクリックします。
以下、**【保存先】**を確認の上、**【ファイル名】**欄にわかりやすい名前を入力して、**【保存】** ボタンをクリックします。

ご不明な点などがありましたらどうぞお気軽にお問い合わせください。(前頁下)